

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和3年度】

主管課名(担当名)	こども子育て課(こども子育て担当)		
事務事業名	特定教育・保育施設運営経費(延長保育)【再掲】	事業番号	79
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-2 男女共同参画の推進
	施策目標	男女が互いに人権を尊重し支え合うまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	民間保育園(しらかば保育園)入所児童の保護者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	民間保育園(しらかば保育園)の実施する延長保育に対し、国の補助制度を運用した支援措置を講ずる。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	保護者の就労形態の多様化に対応するため、安心して子育てができる環境を整備し、就労と子育ての両立の支援により、児童福祉の充実を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H29	H30	R1	R2	R3		
1 延長保育実施施設数	1施設	1施設	1施設	1施設	1施設	1施設	3施設	6施設
2 延長保育利用人数	894人	644人	580人	481人	68人	84人	2,450人	4,250人
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R3予算		R3決算		R4予算
内訳	国庫支出金	※再掲(事業費は1-3で計上)						
	地方債							
	その他							
	一般財源							
人員(人工)								
職員人件費(=人員(人工)× 7,704千円)								
総事業費(=事業費+職員人件費)								
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)								
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	平成24年度より、民間保育園(しらかば保育園)において開始し、需要に対応しており、引き続き施設と連携して継続実施とする。
今後の動向・市民ニーズなど	利用状況については、市内の産業状況により変動するものと推測されるが、今後の推移を見ながら拡充について検討する。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	保護者が安心して就労することができ、子育てと仕事の両立を支援する観点からも有効性が高い。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 国の補助制度を運用した事業のため、自治体以外の実施が不可能である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 国の補助制度を利用した事業のため、運用条件が設定されており見直す必要はない。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 国の補助制度により、国・道・市の負担割合が定められている。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 国の制度に基づく事業であるため、可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 国の定める運用ルールでは、延長保育を実施する施設が任意に料金設定をすることとなっており、保護者から利用料金を徴収している。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和4年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和3年度】

主管課名(担当名)	商工労働観光課(労政担当)				
事務事業名	根室なでしこ応援事業	事業番号	12557		
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-2 男女共同参画の推進
	施策目標	男女が互いに人権を尊重し支え合うまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	事業所・一般市民の女性
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	女性の社会における活躍の場を創出するとともに、市内企業における労働力確保に努め、地域経済の活性化につなげる。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	潜在的な労働力である女性の活用が図られ、市内経済の持続的発展や労働力の確保に繋げる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H29	H30	R1	R2	R3		
1 就職者数	2件	1件	1件	1件	1件	1件	0件	5件 10件
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R3予算		R3決算		R4予算
内訳	国道支出金	※再掲(事業費は5-13で計上)						
	地方債							
	その他							
	一般財源							
人員(人工)								
職員人件費 (=人員(人工) × 7,704 千円)								
総事業費 (=事業費+職員人件費)								
単位コスト実績値 1 (=総事業費 ÷ 成果実績値)								
単位コスト実績値 2 (=総事業費 ÷ 成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	女性の就労機会の支援をすることにより、市内労働力の確保が図られるため、今後も継続予定である。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 登録者の資格確保への支援等により、就業へ結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 財政的支援要素が強いため、事業の特殊性からも、市以外が単独で取り組むことは難しい。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 事業者登録の増加に向けて、事業内容についてメリット等を掲載したチラシを作成し、新聞折込をはじめ、企業訪問等の機会を通じて、参加事業者の増に取り組む。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 制度周知については、効率の良い周知方法を検討していく。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 類似した事業もあり、一部統合できる可能性はある。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 資格取得支援補助については、一定の補助率・上限額を設定している。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和4年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和3年度】

主管課名(担当名)	社会教育課(社会教育担当)		
事務事業名	放課後教室管理運営経費	事業番号	372
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-2 男女共同参画の推進
	施策目標	男女が互いに人権を尊重し支え合うまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市内の児童
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	放課後教室等の設置・管理運営、留守家庭児童会及び登録児童会の運営並びに放課後子どもプラン事業の実施により、学校や地域の協力を得ながら、放課後等における児童への遊びや生活の場を提供するとともに、健全育成に必要な学習や活動の実施	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	保護者の就労や疾病、介護等により昼間家庭での養育を受けることができない児童をはじめ、すべての児童が放課後等に安心・安全な居場所を確保できるほか、様々な体験活動や交流活動等を通じ、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となることから、自主性及び社会性の向上と基本的な生活習慣の確立により、子どもの健全育成を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H29	H30	R1	R2	R3		
1 地域ボランティア人数	4人	3人	4人	4人	0人	0人	10人	10人
2 放課後教室における実施事業数	101回	118回	134回	111回	59回	84回	110回	110回
3 放課後教室における実施事業参加者数	4,589人	5,512人	5,810人	5,080人	2,541人	3,664人	5,000人	5,000人
4								
事業費(=下記内訳計)		R3予算		R3決算		R4予算		
内訳	国庫支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源							
人員(人工)								
職員人件費 (=人員(人工) × 7,704 千円)								
総事業費(=事業費+職員人件費)								
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)								
単位コスト実績値 2 (=総事業費÷成果実績値)								
単位コスト実績値 3 (=総事業費÷成果実績値)								

※再掲(事業費は3-10で計上)

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	近年、各家庭において急速に普及したSNS関連に起因する生活習慣の乱れや、個人情報の漏洩によるイジメ、不登校など、青少年問題を取り巻く環境はこれまでも増して複雑に多様化しており、そうした問題に対して柔軟かつ適切に対応できるよう、青少年健全育成に関する各種会議で情報共有しながら取り組むとともに、家庭、地域、学校や関係機関との情報交換や連携強化を図っている。
今後の動向・市民ニーズなど	青少年に関する問題等については、多岐にわたることから、専門的な知識・経験を持つ相談員が常駐し、青少年自身や保護者が抱える悩みの解決に向け、各関係機関と連携を図り、次代を担う青少年の健全育成を推し進めるためにも、青少年相談室の業務については、市民ニーズは高い。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	イジメや不登校、学業不振などの問題等を解決するため、家庭、学校及び関係機関と連携しながら相談や指導を行い、相談室が青少年や保護者の心のセーフティネットとして機能することにより、青少年の健全育成が図られている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 相談の解決に向けて、保護者、学校、公共機関及び関係団体等との連携協力や情報交換などが必要不可欠であるとともに、個人情報保護の観点から市が実施すべきと考える。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 近年の急速な生活環境の変化により、青少年が抱える問題も複雑に多様化していることから、本人、家庭及び学校等に対して、その状況にあった適切な相談や指導が行える体制づくりを継続していくことが必要と考えている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 必要最小限の事業費で事業展開しており、今後においても状況に応じて効率的且つ効果的な事業の実施を引き続き図っていきたいと考えている。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 青少年自身や保護者が抱える悩み等の相談業務が主体であり、その目的及び効果を勘案すると、統合し得る類似した事業がない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 家庭、学校及び関係機関と連携し青少年健全育成を推進しております。また、公的機関が実施する相談業務等について、受益者負担を課することは馴染まないことから、公費で実施することが適切であると考える。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和4年6月